

国境のマチの苦悩訴え

日韓国境に近い長崎県対馬市で12、13の両日開かれた「国境フォーラム in 対馬」（北大グローバルCO）

Eプログラム主催に参加した根室市の関係者は、あやふやにされたままの日韓国境に翻弄される市民の現状を報告した。

（関口裕士）

「経済交流もできぬ」 翻弄される現状報告

市者
根室
出席

13日のパネル討論で長谷川俊輔市長は、今月1日のメドベージュ大統領の北方領土・国後島訪問と、日本政府の対応を痛烈に批判。根室市民の抗議活動について「いてもたってもいられない怒りが自然発生的にわき起こった」と説明した。

北大スラブ研究センターの岩下明裕教授は「（経済交流のできない）北方領土の問題は、他の国境地域よりも深刻」と指摘。対馬市の財部能成市長は「政府がきちんと国境を決めないで不幸な状態が続く。言うべきことを相手に伝えて『けんか』で1736日だが、納

沙布岬の3・7ヶ先に貝殻島があり、1・85ヶ先には「目に見えない」が超えてはいけない日ロ中間ラインがある」と紹介。戦後約9500人の漁業者らが拿捕された「国境のマチ」の負の歴史を報告した。

また日ロ国境が明確にされていないために、四島側との経済交流ができないことへの地元の閉塞感を説明した。同じ会議で稚内市の関係者はサハリンとの経済交流への期待を語ったが、高橋課長は「根室では交流を通じた痛みではなく、交流できないジレンマを抱えている」と話した。



パネル討論で、根室市民の心情を語った長谷川市長（右）

このほか沖縄県与那国町の関係者は「島国で海上に明確な国境線

が見えないため、戦後「根室海士町の関係者は日本には『国境』という認識がなかったため「沈黙を続ければ実効支配を容認することに「は」と問題提起。竹島なる」と強調した。



海を隔てたサハリンとの交流について報告する稚内市の佐藤秀志サハリン課長

対馬で「国境フォーラム」

「人的交流を経済に」

対サハリン 稚内市など報告

日韓国境に近い長崎（大谷）とロシアのサハリン州との交流について報告した。対馬は韓国・釜山との距離が約50キロで、宗谷岬とサハリン間の約43キロとほぼ同じ。対馬市の人口も約3万5千人と、稚内市の約3万9千人に近い。

フォーラムは沖縄県与那国町、東京都小笠原村、根室市と持ち回りで開かれ、今回で4回目。稚内の報告は、日

北海道新聞朝刊 旭川・上川版
2010年11月16日(火) 第27面
北海新聞社許諾 D1012-1106-7031

本の境界地域を考えた」と題した13日の会議で行われた。稚内市の佐藤秀志サハリン課長は、1999年以来3億8千万円を市が財政支援しているコルサコフとの定期航路で、ロシア人が乗客の7割を占める状況や、2002年にユジノサハリンスクに市の事務所を開設したことなどを紹介。「人的交流を経済交流につなげた」と展望を話した。稚内商工会議所の藤田幸洋サハリン経済交流促進特別委員長は、ロシアへの輸出や、2002年にユジノサハリンスクに市の事務所を開設したことなどを説明。サハリンの資源開発で頻りに往來するタンカーなどの事故に対する地元懸念についても話した。基調報告した古川浩司・中京大教授は「国境は国際交流の玄関口。ネットワークをつくり、共に繁栄することが大事」と強調した。一方、同じ会議で根室市の高橋雅典・北方領土対策課長は、戦後約9500人が「目に見えない」シレンマを抱えている日ロ中間ライオンを越えて奪取され、島国で海上に明確な国境のまちの歴史を報告。国境が明確にされていないため、戦後日本には「国境」に踏み込めない境」という認識がなかったのでは」とあらためて問題提起した。(関口裕士)

根室の苦悩を訴え

国境フォーラムで市長 対馬

長崎県対馬市で開かれた「国境フォーラム」



国境フォーラムで、北方領土への思いを語る長谷川市長(右から3人目)＝13日午後、対馬市交流センター

「北大グローバル対馬」(北大グローバルCOEプログラム主権)で13日、長谷川俊輔・根室市長らがパネル討論し、領土問題を抱えるマチの苦悩を話し合った。12日開幕したフォーラムは今回で4回目。ロシアのメドベージェフ大統領の北方領土・国後島訪問や尖閣諸島周辺の中国漁船衝突事件など日ロ、日中間で領土をめぐる論議が高まる中、根室と稚内、対馬、沖縄などの関係者や国内外の研究者ら

約150人が参加した。

パネル討論で、長谷川市長は北方領土問題の解決について、「(旧ソ連による占拠から)65年たつて、まだ一歩も進んでいない」と地元の焦りを吐露。外務省など国の対応も「人ごとのように思えてならない」と批判した。岩下明裕・北大スラブ研究センター教授は「(日ロ間で合意された)国境が決まっていないうえ、根室は(四島側と)経済交流もできない」と、他の地域と比べて深刻な北方領土の特異性を指摘した。

北海道新聞朝刊 2010年11月14日(日) 第4面
北海新聞社許諾 D1012-1106-7031

フォーラム開催を記念して国境問題に関する本を集めた北大の「エトピリカ文庫」が対馬の図書館に開設された。会場では、北大作成のDVD「知られざる北の国境・樺太と千島」も上映された。フォーラムは、昨年は根室市で開催され、来年は鹿児島・徳之島で開かれる予定。